

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成20年4月10日(2008.4.10)

【公開番号】特開2002-244161(P2002-244161A)

【公開日】平成14年8月28日(2002.8.28)

【出願番号】特願2001-42290(P2001-42290)

【国際特許分類】

G 02 F 1/167 (2006.01)

【F I】

G 02 F 1/167

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月19日(2008.2.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の帯電泳動粒子と、これらの帯電泳動粒子が分散された分散媒と、を備え、電圧を印加して前記帯電泳動粒子を移動させることに基き表示する電気泳動表示装置において、

前記帯電泳動粒子は、平均粒径が0.2μm以上20μm以下であり、かつ、

変動係数 = {粒径差(μm) / 帯電泳動粒子の平均粒径(μm)} × 100、

ここで、粒径差 = (最大粒径 - 最小粒径) ÷ 2

で定義される変動係数が2%以上20%以下である、

ことを特徴とする電気泳動表示装置。

【請求項2】

前記帯電泳動粒子は、平均粒径が0.2μm以上8μm以下であることを特徴とする請求項1に記載の電気泳動表示装置。

【請求項3】

前記帯電泳動粒子は、変動係数が2%以上10%以下であることを特徴とする請求項1又は2に記載の電気泳動表示装置。

【請求項4】

所定間隙を開けた状態に配置された一対の基板を備え、前記帯電泳動粒子及び前記分散媒はこれらの基板の間に配置されたことを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載の電気泳動表示装置。

【請求項5】

前記帯電泳動粒子及び前記分散媒の近傍に第1電極及び第2電極が配置され、これらの電極の間に電圧を印加することによって帯電泳動粒子が移動されることを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載の電気泳動表示装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

【課題を解決するための手段】

本発明は上記事情を考慮してなされたものであり、複数の帯電泳動粒子と、これらの帯

電泳動粒子が分散された分散媒と、を備え、電圧を印加して前記帯電泳動粒子を移動させることに基き表示する電気泳動表示装置において、

前記帯電泳動粒子は、平均粒径が $0.2 \mu m$ 以上 $20 \mu m$ 以下である、かつ、

変動係数 = { 粒径差 (μm) / 帯電泳動粒子の平均粒径 (μm) } × 100、

ここで、粒径差 = (最大粒径 - 最小粒径) ÷ 2

で定義される変動係数が 2% 以上 20% 以下である、ことを特徴とする。